

北九州市冷蔵倉庫貨物流動状況等  
調査報告書

昭和 57 年 3 月

(財)九州海運振興センター

本調査は、財団法人日本船舶振興会の助成金及び賛助会費によって行なった事業である。

## はじめに

本報告書は、当財団が昭和56年度自主事業として実施した「北九州における冷蔵倉庫貨物流動状況等調査」の成果をとりまとめたものである。

近年における食生活の向上、多様化と嗜好の変化あるいは国際的漁業規制の広がりによる水産物の流通構造の変化等により、コールドチェーンシステムの中核に位置する冷蔵倉庫は、現在の経済、社会生活のなかで、きわめて重要な役割を果している。

しかしながら、第2次石油危機以来の電力料金の高騰、庫腹の急激な増加等冷蔵倉庫業界をとりまく環境は、ここ数年来極めて厳しさを増しつつある。

このような情勢を背景にして、当財団では昭和56年度事業として、北九州市内に立地する営業冷蔵倉庫を対象に、冷蔵倉庫貨物の流動状況の実態把握に併せて、保管需要の動向に見合った今後5か年の適正庫腹量の策定に関する調査研究を行なったものである。

最後に、本調査研究に際して終始ご指導、ご協力をいただいた関係官庁や各業界の方々、さらには委員をはじめとした関係各位ならびに、当財団の運営に一方ならぬご支援をいただいている財団法人日本船舶振興会に改めて謝意を表する次第である。

昭和57年3月

財団法人 九州海運振興センター

会長 邑本義一

# 北九州市冷蔵倉庫貨物流動状況等調査委員会

## —— 委員名簿 ——

委員長	小野 豊	門司冷凍製氷協代表取締役社長
委員	林 昭	九州海運局若松支局長
◇	田尻 明	九州海運局運航部倉庫課長
◇	岡田 和彦	(前)九州海運局運航部倉庫課長
◇	原口 省三	北九州市経済局中央卸売市場長
◇	寺本 清右エ門	門司冷凍製氷協取締役
◇	林 輝英	日本冷蔵協小倉工場長
◇	甲斐 逸郎	大洋冷凍協北九州営業所長
◇	河合 俊幸	八幡製氷冷蔵協代表取締役社長
◇	上林 幸男	三幸冷凍協代表取締役
◇	神山 和久	北九州市物資流通研究所研究員(北九州大学商学部講師)
事務局	三宅 徹	九州海運局運航部倉庫課冷蔵倉庫係長
◇	神崎 正郁	九州海運局運航部倉庫課監理係・冷蔵倉庫係(併任)
◇	松下 勝	(財)九州海運振興センター調査役



事業者名	倉庫(工場)名	記号
日本冷蔵株式会社	小倉工場	①
小倉冷蔵倉庫株式会社	浅野町冷蔵倉庫	②
	曾根冷蔵倉庫	③
門司冷凍製氷株式会社	本社工場	④
	葛葉埠頭工場	⑤
	市場工場	⑥
大洋冷凍株式会社	北九州営業所	⑦
佛三幸冷凍株式会社	同左	⑧
榊松江商店	〃	⑨
橋本食品株式会社	第1冷蔵庫	⑩
	新門司工場	⑪
関門冷凍株式会社	小倉冷蔵庫	⑫
日本水産株式会社	戸畑冷凍工場	⑬
戸畑製氷冷蔵株式会社	同左	⑭
八幡製氷冷蔵株式会社	〃	⑮
佛えび商社	1号冷蔵倉庫	⑯
12社	16工場	

# 目 次

はじめに

北九州市冷蔵倉庫貨物流動状況等調査委員会委員名簿

北九州市冷蔵倉庫分布地図

第Ⅰ編 北九州市冷蔵倉庫貨物流動状況等調査 .....	1
第1章 調査の概要 .....	1
1 調査の目的 .....	1
2 調査の方法 .....	1
3 調査実施期間 .....	1
4 調査の対象 .....	1
5 調査票の回収状況 .....	2
6 調査項目 .....	2
第2章 北九州市における冷蔵倉庫業の概要 .....	4
1 北九州市内冷蔵倉庫業者及び所管容積 .....	4
2 営業冷蔵倉庫の事業者数及び工場数の推移 .....	6
3 営業冷蔵倉庫の保管温度別の容積の推移 .....	6
4 冷蔵倉庫事業者の資本金別構成 .....	6
5 北九州市内営業倉庫の保管実績等の推移 .....	7
(1) 入庫高の推移 .....	7
(2) 出庫高の推移 .....	7
(3) 平均月末保管残高の推移 .....	7
(4) 年間回転数の推移 .....	10
(5) 平均月間利用率の推移 .....	11
第3章 アンケート調査結果の概要 .....	12
1 集計方法について .....	12
2 集計結果の概要 .....	13
(1) 入庫貨物の状況 .....	13
① 品目別入庫高 .....	13

② 保管クラス別（保管温度級別）入庫高	14
③ 発送元の地域別入庫高	15
④ 品目別、発送元の地域別入庫高	15
⑤ 発送元の施設別入庫高	16
⑥ 利用輸送機関の状況	21
(2) 出庫貨物の状況	23
① 品目別出庫高	23
② 発送先の地域別出庫高	24
③ 発送先の施設別出庫高	25
④ 品目別、輸送機関別出庫高	26
⑤ 品目別、発送先の地域別出庫高	28
⑥ 品目別、発送先の施設別出庫高	30
⑦ 発送先が北九州市内のものの品目別出庫高	32
⑧ 発送先が北九州市内のものの品目別、施設別出庫高	32
⑨ 出庫貨物の保管日数	35
(3) 寄託貨物の名義変更状況	37
① 名義変更とは	37
② 名義変更貨物の出庫状況	37
③ 名義変更の件数及び回数	38
④ 寄託者の業種別名義変更状況	38
(4) 倉庫立地の状況	39
① 都市計画の用途地域別立地状況	39
② 倉庫立地上の問題点	39
(5) 流通加工機能の状況	41
(6) 情報機能の状況	42
① 情報伝達の状況	42
② 情報伝達手段の状況	43
③ 倉庫業務事務処理用コンピューター導入状況	43
(7) 荷役機能の状況	44
① 荷役形態	44
② 使用荷役機械の状況	44
③ パレット保有状況	45

④ 早出し（宵出し）作業の実施状況 .....	46
(8) 倉庫施設の状況 .....	47
① 倉庫の規模別棟数及び所管容積 .....	47
② 倉庫棟数別の所有形態 .....	47
③ 階数別の割合 .....	48
④ 主要構造別の割合 .....	48
⑤ 建築後経過年数別の割合 .....	49
⑥ 主要構造別、建築後経過年数別棟数及び所管容積 .....	49
⑦ 使用冷媒の状況 .....	51
(9) 倉庫立地計画調査 .....	51
(10) 倉庫経営概要 .....	51
① 兼営事業の状況 .....	51
② 貨物寄託者の状況 .....	52
③ 従業員の状況 .....	53
④ 従業員確保の困窮状況 .....	54
⑤ 電力使用状況 .....	54

## 第Ⅱ編 北九州市冷蔵倉庫整備5か年計画 .....

57

### 第1章 倉庫整備計画策定の経緯 .....

57

### 第2章 第5次倉庫整備5か年計画（全国の冷蔵倉庫）の概要 .....

57

#### 1 算出フロー .....

57

#### 2 必要庫腹量 .....

57

#### 3 更新目標庫腹量 .....

58

#### 4 整備目標庫腹量 .....

58

#### 5 年平均増加率 .....

58

### 第3章 北九州市における冷蔵倉庫の現状 .....

58

### 第4章 本計画の概要 .....

59

#### 1 目 的 .....

59



2	計画の期間	59
3	計画の対象倉庫	60
4	計画の対象地域	60
<b>第5章</b>	<b>北九州市の冷蔵倉庫の整備計画</b>	<b>60</b>
1	冷蔵倉庫整備目標値	60
2	整備目標値算定手法	60
3	昭和60年度における冷蔵倉庫の保管需要について	61
(1)	保管需要予測に際しての前提	61
(2)	保管貨物の種類について	62
(3)	冷蔵倉庫保管貨物の動向について	62
(4)	昭和60年度の保管需要	63
①	消費支出等からの推計	66
②	人口動向からの推計	66
③	北九州市圏の昭和60年度の人口	69
④	昭和60年度の保管需要	69
4	昭和60年度における必要庫腹量	69
5	純増加庫腹量	70
6	代替建設量	70
7	整備目標庫腹量	70
8	年間平均増加率	70
<b>第6章</b>	<b>整備目標値達成のための要素必要量</b>	<b>71</b>
1	用地量	71
2	資金量	71
(1)	用地費	71
(2)	建設費	71
<b>第7章</b>	<b>配置計画</b>	<b>71</b>
<b>第8章</b>	<b>昭和60年度における北九州市の冷蔵倉庫</b>	<b>74</b>

第Ⅲ編 北九州市内冷蔵倉庫業の今後の動向について  
(座談会)…………… 75

資 料 編

詳細は当センターへお問合せ下さい  
(財)九州運輸振興センター  
電 話 : 092-451-0469  
e-mail : info@kyushu-transport.or.jp